

2020年 8月発行

山梨県 桃の会

HP <https://momonokai.org> E-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

会報第71号

思考を越えて

毎日死んでいく細胞を補い 代謝を繰り返しながら
生命を支えている
常に軌道修正をしながら 止むことをしない
しなやかな生き方
考えることでも、言葉での表現でもなく
五感を研ぎ澄ましてみよう
私たちには思考の到底及ばない
生命の力が備わっている



出会う、つながる、わかちあう

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部



☆ 本当は働いてほしい!? ☆

ひきこもる、または社会とうまくつながれないで働いていない子供、兄弟を持つ多くの家族の本音は冒頭の言葉であろうという思う。本来ならば30代、40代の一番エネルギーのある年代でありあらゆる面で社会を「支える」側の人達になるはずだった。だからこういう思いは自然な感情としてぬぐってもぬぐっても湧き出てくるのかもしれない。彼らは彼らで現状を何とかしたい、生きる為には働かなくてはならないということは十分わかっている。

それなのに何故動き出せないのか・・・もどかしさを感じているのは彼ら自身である。

彼らをとりにまく私たちの心の中に現状の彼らに対して「しっかりしろよ！いい加減働けよ」という思いが少しでもあるとしたら彼らの不安は解消されず踏み出す力は出てこないだろう。

急き立てられ、責められ、否定される事にとっても敏感になっている彼らの心はそれだけで消耗してしまう。「認めてもらう」ことを積み上げていくことでしか彼らの中の「自分」を動かす源にはならないと私は思っている。

☆ もっと話しができたら・・・ ☆

「話さないから息子が何を考えているのかわからない」、「何も言わないからやりようがない」という強き意見もある。「話してほしい」という思いはひきこもったり、社会とつながりにくい子供を持った親はみんな感じたことのある思いだ。

彼らは「話さない」のではなく「話せない」のかもしれない。

その背景にあるものは一様ではないだろうが、家族の中で自由に安心して自分の意見が言える環境であったかどうかということは、かなり重要な要因になっているように思う。

私たちの日常の人間関係の中でも安心感のある人や場所に行くとき心解放できて自分を素直に表現できるのと同じである。私たちの心に安心感のある受け皿を用意してしばし待ってみよう、彼らも自由に話したいはずである。



桃の会パンフレットが完成しました！

桃の会は6年目を迎え、赤い羽根協同募金の助成金を頂いてようやくパンフレットを作成致しました。山梨県内には未だに声を上げていないひきこもりの問題を抱えたご家族が沢山いらっしゃると思います。少しでも多くの方が目にしてくださいますように、そして家族が孤立しないように願います。

(篠原)



(^^♪ 当事者スペースの報告

7月18日（土）13：30～16：00 ぴゅあ総合2階会議室にて

参加者 当事者、経験者 4名

スペースにおける内容

- ・フリートーク
- ・近況を語り合う、やっている活動について、新型コロナに関する話
- ・テレビで取り上げられた「ひきこもり支援」について
- ・食の好み

感想

2月以来、5ヵ月ぶりに月例会を開催でき、当事者スペースも再開することができました。再開できたことがとても良かったと思っています。新型コロナ禍の状況の中、まずは体調を整えながら生活をしていきたいものです。（米長）

7月の月例会 当事者の思い・・・それが居場所につながる

2月に居場所作りシンポジウムに参加された報告を当事者スペース世話人の田中さんに、同じく当事者世話人の滝沢さんにも、家族からの質問等にも答えて頂きました。

人に何かを伝える、ということは誰にとっても難しいことですが敢えて挑戦して下さったことに感謝したいと思います。彼らの話しを下記にまとめました。

** 居場所に求めるもの

- ・人と会う行為はストレスになることでもあるが、人と会って話す、人とつながる、電話ではなく実際に会って話す場所が絶対必要である、人と関わり話しをすることはエネルギーをもらうからである
- ・就労に結び付くところではない。それぞれの思いを語り、共有したい、ただそれだけである
- ・安心安全は、一人それぞれによって違うが、自分にとってまず安心感があり、自由に自己表現できること、そしてそこで何かをすることでもない

** 普段、思っていること

- ・「生きる」ということと「死ぬ」ということが同じ価値観で死に対する願望が常にある
- ・自分は社会に必要な人間という思いが強く、自分が好きになれない
- ・人に対する恐怖心を絶えず感じている

** 出るきっかけになったこと

- ・このままでは嫌だという思いが強く、夜、外へ出てみる
できる事を設定してできたことを丸づけする(歩く場所、距離を少しずつ広げる)
丸が増えるごとに達成感が味わえた
- ・学校の先生の声かけで当事者スペースを知る(担任の先生ではなかったが気にとめて下さったこととの出会いが変化をもたらした)

彼らが、何ができるか、何をしているかではなく、生きることに、本当に真面目に向き合っていると感じました。私たちの多くは絶えず明日をどのように生きるかを考えながら生きていますが、日常的に、死を意識しながら生活していると当たり前のように話す彼らに何とか「生きる」ことの喜びを伝えていけないものかと考えてしまいました。

その後の彼らのコメントに、定期的に月例会で今回のような話す場を設けて欲しい、しっかり準備してまた話す機会があったら、という前向きな意見がありました。とても嬉しいことでした。

居場所については、彼ら一人一人が求めるものに応じて出来上がっていくように思います。私たち大人はつい、良かれと思って自分達の都合を優先していないか・・・をいつも確認しなければならないでしょう。居場所が本当の意味で彼らの為の居場所になって欲しいと思います

8月月例会・当事者スペースは中止します！

新型コロナ感染が再び広がりを見せております。8月は月例会開催の予定でしたが感染防止のため中止する事に致します。

当事者スペースも併せてお休みします。これからもその時の状況に応じて対応させていただきたいと思っております。変更のある時は、会報やHPでお知らせしてまいりますのでご確認を宜しくお願い致します。

皆様にはご不便をおかけしますがしばらくはこのような状態が続くと思われまます。

今できる事を少しずつやっていきたいと思っておりますのでどうかご協力を宜しくお願い致します。

なお、9月の状況も現時点で予測できにくい状態ですので、9月の会報で予定をお知らせさせていただきます。



**** ミニグループトークは、感染防止対策を取りながら開催致します。**

日時 8月22日(土曜日) 10時から ぴゅあ総合 小研修室2

**** 当事者スペースはお休みですがミニグループトークには自由に参加下さい**

農園でギャザリングしよう！

画55㎡（約17坪）1年間 市民農園：1区6.000円

場所：甲府市七沢町

友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか！

お問い合わせ：055-243-0261（相良農園）

すみれ会

8月の集まりはお休みさせていただきます

お問い合わせ：090-5416-8748（清水）

*すみれ会は桃の会とは別に地域で活動している家族会です



今年もまた7月の長雨と豪雨の影響で多くの方が家を失い、肉親を失い被災されました。

悲しみと絶望の中にいらっしゃることでしょう。

どうか希望を失わないで生きて下さることを心からお祈りしたいと思います。

お問い合わせ TEL&FAX 0266-55-5411 090-6190-8677 桃の会事務局